



下水道だより

人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取

No.001

鳥取市環境下水道部 下水道経営課
平成 23 年 10 月発行
TEL 0857-20-3923

《下水道の役割・歴史と鳥取市のあゆみ》

快適で安心・安全な市民生活を支える下水道は、単に生活排水や汚水などを処理するだけではなく、コレラ等感染症の流行防止など公衆衛生の向上を目的として整備が始まりました。その後、浸水災害の防止や環境保全など、その役割は多様となり、一層重要な施設となっています。

このような中、鳥取市でも昭和6年に、市街地にあった薬研堀に、下水道管を敷設して埋め立てたことを皮切りに、昭和33年には、生活排水と雨水を合わせて処理する、合流式下水道事業として、秋里処理区の第1期工事が、本格的に始まりました。

以後、生活排水のみを処理する分流式下水道として、事業の処理区を順次拡張して、整備を進めてきました。

現在は、鳥取市の下水道が将来進むべき目標として、下水道中期ビジョン（平成20年度～平成

29年度）を策定し、①下水道未整備地域の整備、②大雨による市街区域内の浸水防止、③合流式下水道の放流水質改善、④下水道焼却灰に含まれるリン資源の回収などを掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

また、下水道の役割や機能を十分に発揮するため、下水道管路が整備されて接続可能となっている地域の皆さんには、早期に接続していただくよう、普及にも力を入れています。

下水道の役割の移り変わり

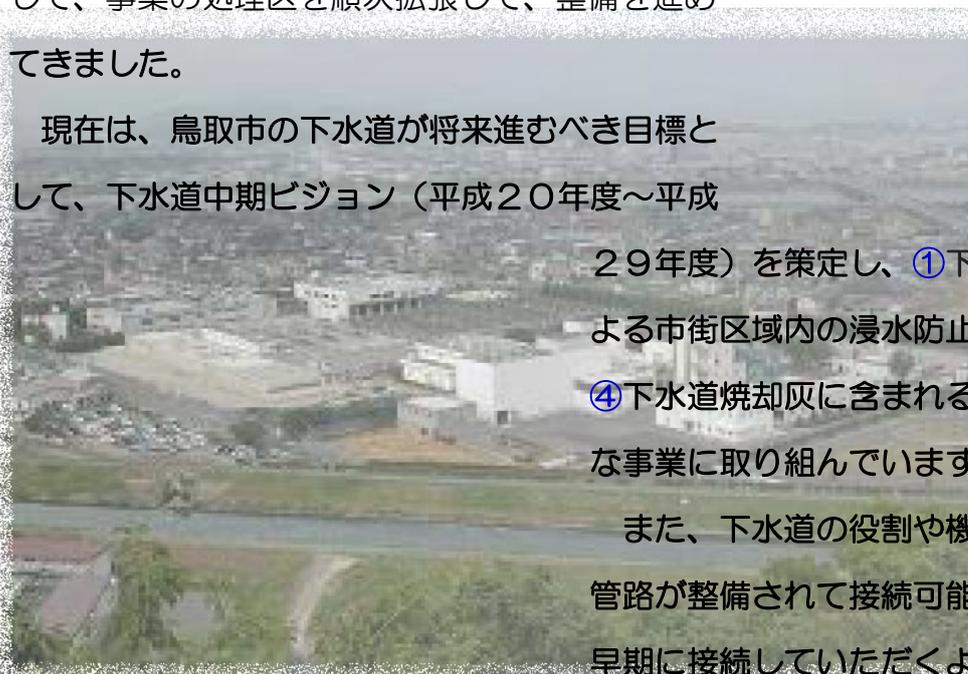
公衆衛生の向上

浸水被害防止

生活環境改善
(トイレ水洗化)

下水道資源等の利用
(地球温暖化対策等)

水環境の保全
(河川・湖沼・海洋等)



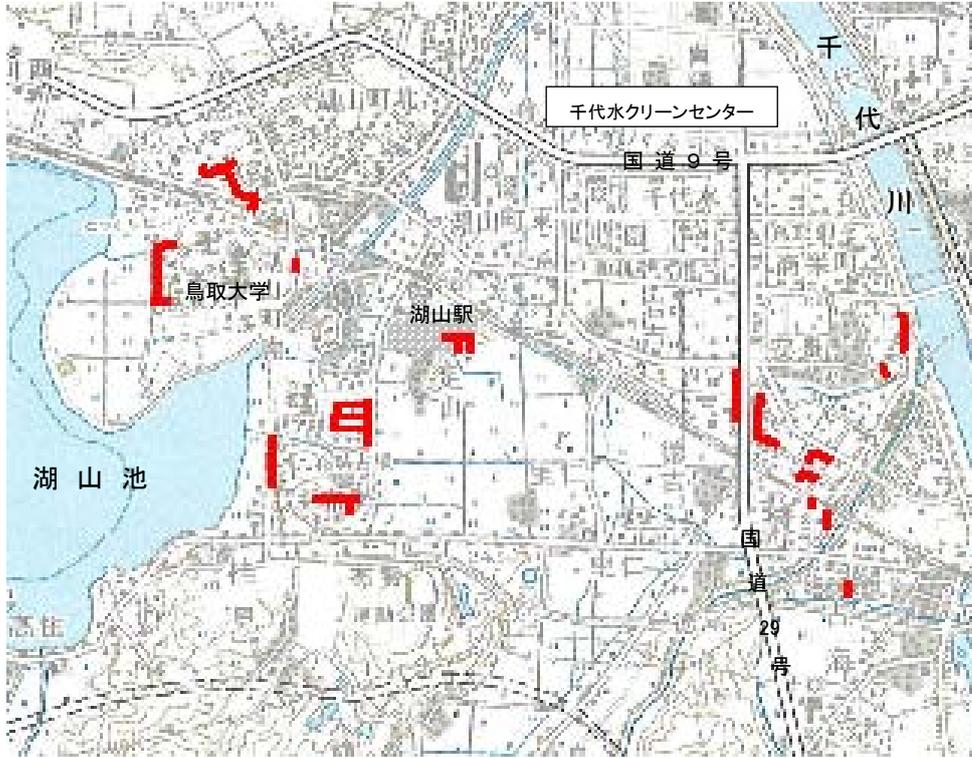
《平成23年度の下水道整備予定》

下水道の未普及地域の解消を図るため、平成23年度は、次の地域で、下水道の工事を進めていきます。

これらの地域では、工事が完成すると、皆様のご家庭で、下水道に接続する宅内工事を実施していただくことになります。

＜地図に表示している予定地域は、工事の進捗状況などにより変る場合があります。＞

■千代川西エリアの予定地域



平成23年度予定箇所



23年度の下水道整備工事の予定地域

千代川西エリア

- 湖山町南二丁目
- 湖山町南三丁目
- 湖山町南五丁目
- 湖山町北二丁目
- 安長
- 緑ヶ丘二丁目
- 緑ヶ丘三丁目
- 布勢
- 徳吉
- 古海
- 五反田町

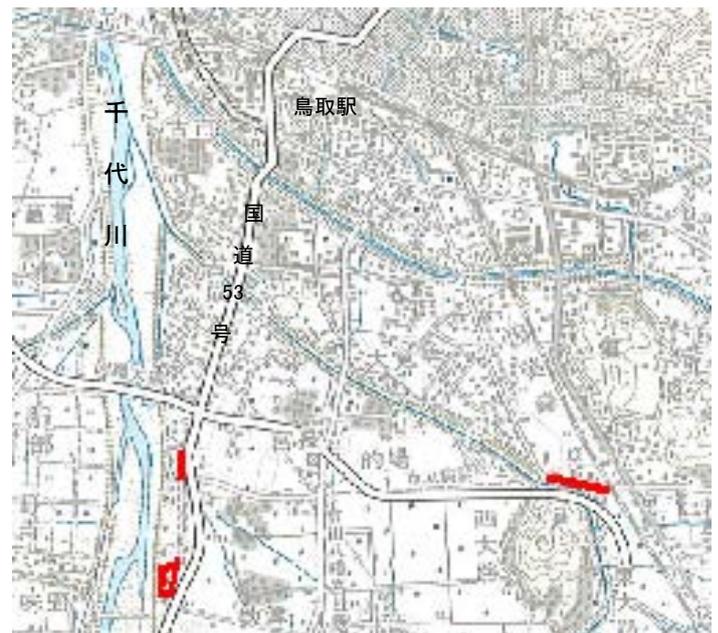
千代川東エリア

- 叶
- 叶一丁目
- 雲山
- 正蓮寺

■千代川東エリアの予定地域



下水道管の敷設工事の様子



鳥取市の下水道の利用可能人口【平成23年3月31日現在】 処理区域内人口：187,187人：普及率：95.8%

* 普及率の内訳〔公共下水道：73.2% 集落排水等：18.7% 合併浄化槽：3.9%〕

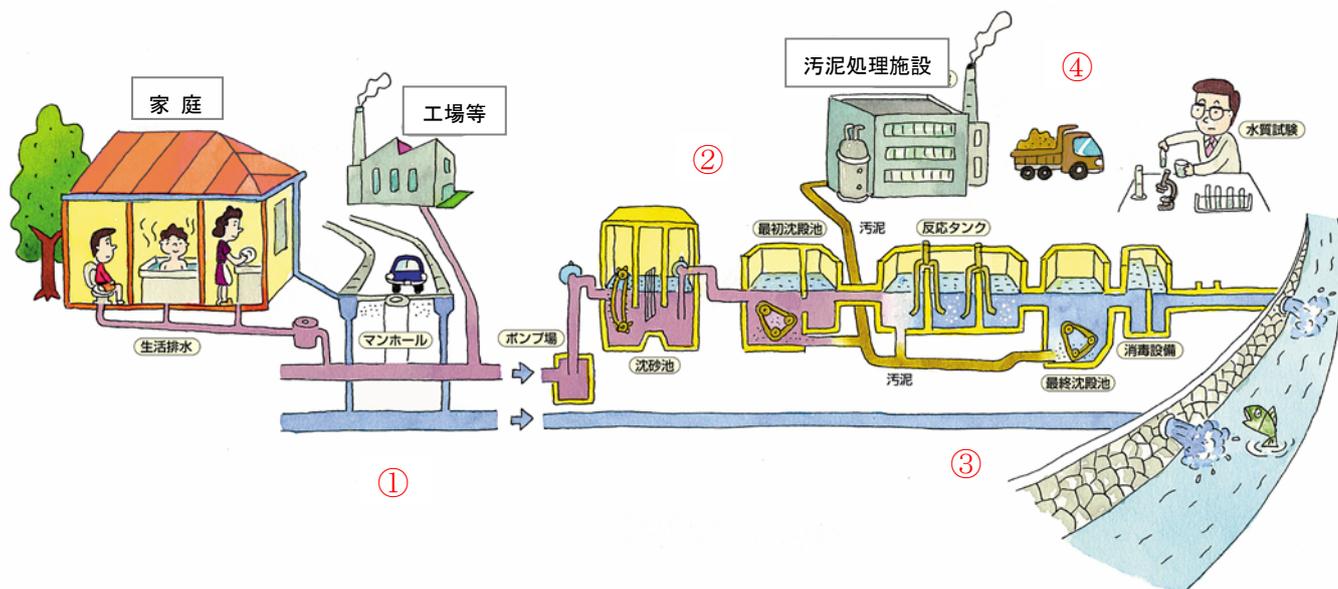
（普及率＝利用可能人口÷総人口×100）

●● 下水道のしくみ ●●

皆さんの家庭や工場などから排出された汚水は、管路など埋設された下水管を流れて、下水処理場に集められます。処理場では、バクテリアなどの微生物の力を活用して、きれいな水に再生した後に、千代川や袋川などの「公共水域」に放流しています。

下水の水再生のしくみについて、簡単にご紹介しましょう。

家庭などの排水がきれいになって川や海に帰るまで



- ① 下水道が整備され、皆さんが下水道に接続されると、台所やトイレで使用した生活排水は、下水道管を通過して処理場まで送られます。
- ② 処理場では、まず汚水と汚物に自然分離されます。
- ③ 分離された汚水は、バクテリアなどの微生物により分解浄化されます。決められた水質基準以下に再生された水は、薬剤によって滅菌された後に、川や海に放流されます。
- ④ 微生物が汚れを分解した後に、最終的に発生する汚泥は、焼却して灰にして、建設資材の材料（セメント）として使用したり、有機肥料（いなばコンポ）に加工されるなどして、資源の有効利用に役立てられています。

第34回鳥取市木のまつりで
「いなばコンポ」を無料配布します！

再生有機肥料「いなばコンポ」のPR用試供品を
会場で無料配布します。

■日時：11月3日（木）午前11時～

■場所：市役所第2庁舎前

※先着1,000個の限定配布です。

問合せ先▶下水道経営課 TEL0857-20-3923



下水道トピックス



6月
17日

鳥取市連合婦人会が秋里増補幹線を見学

6月17日（金）、鳥取市連合婦人会（佐々木ちよ子会長）の会員22人が、鳥取市の地下10メートルに整備中の、秋里増補幹線を見学されました。

この日、現場事務所で事業の概要説明を聞いた後、直径2メートルの管路約1.7キロメートルを、歩いて見学していただきました。

見学後は、中腰での移動に少し疲れた様子でしたが、普段は目にすることのない超大型の雨水管を直接体験し、その役割に理解を深めていただくことができました。



7月
5~8日

小学生が下水道施設の見学

7月5日（火）から8日（金）まで、湖山、浜坂、明德小学校児童339人が、秋里増補幹線の見学に、下水道庁舎を訪れました。

配布されたヘルメットを身につけた子どもたちは、緊張した表情で地下の増補幹線入口へ移動。初めて見る巨大な管に、驚きの歓声をあげながらも担当者の説明に聞き入るなど、下水道について熱心に勉強していました。



下水道事業審議会を開催

8月
1日

8月1日（月）、平成23年度第1回鳥取市下水道等事業運営審議会を開催しました。

鳥取市の下水道事業の進捗状況や、使用料の収納や接続などの経営状況、平成24年4月の公営企業会計への移行準備状況などについて、慎重に審議いただきました。

委員のみなさんからは、使用料の収納率向上対策などについて、活発に意見・提言をいただきました。

